

2019年11月7日 第1号
生田中学校区地域教育会議
議長 井田 久

発行担当:生田小学校

生田中学校区『地域教育会議』ってなあに?

—地域教育会議の誕生— 1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年事件が多発し、川崎でも深刻な事件が起きたことから、教育の危機が指摘されました。

そこで川崎市では、教育集会を開催。242か所、参加者延べ4万人から出された6,500件の意見をもとに、地域からの教育改革をめざして、「地域教育会議」が提案されました。

平成2年に3中学校区で試行設置され、平成10年には51中学校区、7行政区すべてに設置されました。(川崎市地域教育会議推進協議会冊子より一部引用)

—生田中学校区地域教育会議が目指すもの— 地域教育会議とは地域と学校、行政が共に協力して、子どもがいきいき育つ町を作る。そして大人も楽しく学べる町、ひいてはあらゆる人々がともに生きる地域社会を目指すという事を目標に作られた組織です。この地域の中で子どもたちが生きる力を育む、その豊かな成長の為に多くの世代のふれあいを通した、人と人との繋がりに関わっていかれたらと思っています。どうか皆さまも、地域で子どもたちを育てるといふ観点から、楽しく無理なくご参加頂ければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

井田議長の部屋

私は現在、消防団や地域の青年部などの地域活動に参加させていただいています。長期にわたり関わらせていただいているが、これはその時その時に出会えた人たちと良い出会いが出来たからだと思っています。多くの人に助けをもらいな

がら、楽しく活動してこれたことが長く続けてこられた秘訣でしょうか。

これからも楽しく無理なく活動していけたらと思っています。皆さんも友だちづくりでもいいです。是非、地域活動に参加してみませんか?

年間活動予定	
・総会	6月
・五反田川清掃	8月
・子ども会議	8月
・教育を語るつどい	11月
・花いっぱい運動	10月~12月
・広報紙発行	11月・2月
・年度末総会	3月



東生田小学校校長 **小林勝弘先生!**
生田中学校区地域教育会議の印象は?

着任する前は教育委員会にいた事もあり、区の子ども会議や川崎市全体の子ども会議にも参加した事があります。

最初に参加した総会で、皆さんが継続的に繋がって実行されている事に深く感銘を受けました。その中で子どもたちが育っていて、地域教育会議の子どもたちと大人と一緒に色々な事に取り組んだり、意見を交換し合ったりする事が大切だと思います。子どもの頃から自治能力を培う事が後々大人になってから絶対にプラスになります。

子どもたちの成長に伴い色々な問題が発生する中で、身近な事や子どもたちが常に取り組んで進めている事は、これからも引き続き実行していかなければならないと思います。

毎年おこなわれている五反田川清掃では子どもたちの成長と地域の様子も見られて嬉しかったです。

東生田小学校では集団登校をしています。見守りと交通安全も含め、保護者の方、ボランティアの方、地域の方にも率先して取り組んでいただいていますので関心が高いです。

地域に育てられ地域で学んでこの素晴らしい空間を共有して、周りとの繋がりの中で取り組んでいきたいです。



My Favorite 私の気に入り

- 野球 & ソフトボール! 中高校時代は軟式テニス部。スポーツ大好き!
- 味噌ラーメンが大好き! でも最近甘い小豆(一も)大好きに!
- 着任してすぐ児童たちにOOTVのアナウンサーに似ていると言われました!
- 越中おなら餅に合わせておじるおなら餅の名手! ※富山県富山市八尾地区で踊られる。気品あふれる踊り!
- 校長にない! 益々児童の安全を願っています!
- 社会科が専門です!

総会の報告

6月10日(月)平成から令和になって初めての総会が、生田小学校体育館にて開催されました。

生田中学校、三田小学校、東生田小学校、生田小学校の4校で構成されている、今年度のメンバーの自己紹介とともに、各委員会の活動計画と予算案について話し合いました。

地域のつながり、連携を活かし、元気・絆・魅力・安心な町づくりを目指して活動していきます。

生田中学校区地域教育会議
今年度議長の
井田久です。

2019年度メンバー紹介 総数73名

生田中学校 子ども会議委員会
「自転車点検の合言葉「ブタはしちべる」」

三田小学校 地域美化委員会
「地域の力で生田の町をきれいにしましょう!」

東生田小学校 教育を語るつどい委員会
「教育を語るつどい委員会
来て良かった!と思ってもらえるような講演会にしたいです!」

生田小学校 広報委員会
「生田の絆が素敵をあなたに届けます!」

運営委員会(4校の代表者)

今年も大勢の先生や地域の方々が参加されているんだね!

繋がる力を大切に、子どもたちが安心して過ごす地域作りを目指します

うけとった!

生田の地域と学校・家庭・子どもたちとで、「地域に生きる」を考え、活動しています。

つなぐ
つなげる
つながる

子どもたちの未来へ...



自転車事故はどうすれば減らせる？ まずは自分の自転車の点検から！

子ども会議

実物の自転車を見ながら、ポイントになる点検箇所をみんなで話し合いました。

自転車マナーアップ

～もっと安心・安全な町へ・・・自分たちでできること～

子ども会議委員会 担当：生田中学校

2019. 8月29日(木) PM 1:30~3:30

多摩区は、昨年度まで神奈川県「自転車交通事故多発地域」に指定されていました。今年も指定から外れましたが、自転車事故が急に減ったわけではありません。安心・安全に自転車に乗るために、今回は、自転車のメンテナンス中心に考えました。

15人位ずつ8グループに分かれて、自転車を点検するときはどこを見るか、各々意見を話し合いました。実物の、自転車を触りながら「塾に行く途中で車体のこの部分が取れて、新百合ヶ丘まで大変だったんだ」「生田は坂が多いからブレーキが故障したら危ないよね」「車を運転している時、後ろの反射シートが光ると自転車を見つけやすくなる」「家族で一台だから、自転車に乗るときはサドルの高さを必ず調節するよ」等、小中学生、大人から様々な意見が活発に出されました。

各グループの発表の後に、多摩警察署交通課 西ノ園さんより講評、解説をしていただきました。神奈川県では自転車保険が10月から義務化されます。自転車事故の怖さも自転車のメンテナンスの重要性も再認識できた会となりました。

みなさん
自転車メンテナンスの合言葉
『〇〇〇〇〇〇』
に入る文字
分かりますか？

ヒント!!

- 1: ブレーキは利くかな？
- 2: タイヤの空気は入っているかな？
- 3: 反射材はついてるかな？
- 4: 車体は曲がってないかな？
- 5: ベルは鳴るかな？

※答えは、表面の真ん中下にあるよ!

ご指導いただいた方



多摩警察署 交通課 交通総務係 西ノ園 彩 巡査



大勢の中学生がグループの進行を務める姿は、小学生が憧れるお兄さん、お姉さん像でした。



自転車のメンテナンスの仕方を映像で確認しました。

子ども会議の感想

小5 走行しているとき注意するだけでなく、定期的に点検をしたりしなければ危ないということがわかりました。クラスで自転車に乗っている人に教えてあげて、生田をもっと事故のない街にしていきたいです。

小5 今日の子ども会議で、点検した方がいい所が見つかりました。私の自転車のタイヤは空気が入ってなかったので、空気を入れました。ブレーキの自分でできる点検もやってみました。お母さんにも伝えました。私の班には、車を運転している人が多く、運転手目線の話も聞けて良かったです。

小6 僕は普段、あまり自転車には乗らないですが、自転車の危険性について学ぶことが出来ました。これからは、ルールもそうですが、歩くときは周囲をよく見て、間を取り、自転車に乗る時は、初めて乗る時の緊張感を持って、しっかりと"ブタはしゃべル"を点検するのを心がけたいと思いました。

小6 今まで、自転車の点検などしたことがなかったので、改めて、大きな事故になってしまうことがわかりました。班での話し合いでは知らない人との交流できんちょうはしたけど、いい経験になりました。中学生がききっていて、カッコイイな!と思ったので、自分も中学生になったらそういう存在になりたいです。自転車のマナーを守り、生田の町を安全にしていきたいです。

中3 普段の生活では知ることのできない自転車の点検について、地域の方や近くの小学校の児童や先生方と話し合うことができて、よい機会だったと思いました。また、"ブタはしゃべル"という合言葉を知ることができたので、これから先、自転車に乗る時などに実行し、このことを知らない人にもしっかりと広めていき、自分たちが発信元になっていけるように努力していけたらと思いました。

中3 小学校の子や先生方まで幅広い年齢の人たちと、1つのテーマについて話し合うと、目の付け所が違って面白かった。急に前で発表することになってあせったりしたけど、うまくいってよかった。おわった後にも名前シールやお茶のごみを集めたりと、自分の出来る最大のことを出来たと思う。

中2 この会議を通して、小学生の人や、地域の方との意見交換ができてよかったです。小学生は小学生らしさを感じ、中学生の私たちとは少し違うところから意見を出してくれて、意見の幅が広がったです。子ども会議はたくさんの発見ができる会議になったと思います。

保護者 自分にとって自転車は、なくてはならない存在なので、今回の自転車マナーアップの話し合いは、身が引き締まりました。グループでの意見交換で生徒一人一人が理由もしっかり述べていたので感心しました。自転車損害賠償責任保険等への加入が10月から義務化されることを初めて知ったので、自分が加入することはもとより、周りの人たちへも教えようと思います。



担当：生田小学校



地域美化委員会 担当：三田小学校

2019. 8月17日(土) AM 8:30~9:20

台風が去った後、朝から気温が上昇し35℃の中、生田中・三田小・東生田小・生田小の生徒が、生田駅前から田中橋まで、五反田川沿いの歩道の草取りをしました。保護者や先生方、地域住民も一緒にほうきや鎌を持って、しっかり根を張った草を抜きました。

今年は早朝からの猛暑を考慮し、時間を短縮するという熱中症対策を立てました。清掃時間が短いため、川清掃は今年はお休み。

15年以上続く、毎年行われる行事ですが、今年も総勢 287人が参加し汗を流しました。参加者の皆さんが、きれいになった川沿いを見て、爽やかな笑顔を見せていたのが印象的でした。



中学生の声

中3 暑い日だったので時間が少なくなっていたけど、最後までやりきりました。

中1 基本的に雑草が多かった。大変だったけど、あっという間に終わって、この短時間できれいに出来て、うれしかった。終わった後のアイスはおいしかった。

地域の方々の声

地域住民 毎年やってもらって感謝している。本当は自分たちでやらなければならないのに、みんなにやってもらって嬉しい。ありがとう。

地域住民 毎年草を取ってもらっていることは、みんな知っている。とても感謝している。自分たちでもやっている。きれいになってとても気持ちがいい。やってくれた人にありがとうと伝えて欲しい。

みんなの声 あつめました!

小学生の声

小6 暑くて大変だったけど、きれいになってよかった。

小3 五反田川のせいそうができてうれしかったです。なつちゅうようにならない時間でいいと思いました。

小3 五反田川せいそうは、はじめてで、たのしかったです。五反田川がきれいになってよかったです。

小2 やっていくうちに、なれてきました。虫も平気です。

小1 ざっそうがたくさんぬけて、たのしいです。

先生・保護者の声

保護者 地域に貢献できる貴重な経験で、生田に愛着がわきました。

保護者 一人一役のPTA仕事ではなく、子どもが行きたいと言ったからと参加されていた方もいた。地域美化活動を体験させるよい機会だと思った。

保護者 短い時間でしたが、その分集中して行うことができ、近くにいた子どもたちも、きれいになって喜んでました。

保護者 たくさんの地域の方に支えられて生活できるということ、子どもたちが少しでも感じられたらと思い、参加しました。たくさんの方が朝から頑張る姿を見て、子どもたちが何かに取り組むきっかけになったらいいと感じました。中学生が頑張っていて、元気をいただきました。

先生 よい活動だと思う。ここでした経験を自分の家の近辺でも活かせると思う。これから、通勤の時ここを通るので気持ちよく歩くことが出来る。続けて欲しい。

先生 時間短縮されて正解。皆さん集中されてました。素晴らしい配慮でした。

編集後記

昨年度から広報を担当しています生田小学校です。生田中学校区の活動を皆さまにお伝えしていますが、早くもあと一紙で担当交代となります。取材の時に快くご協力くださった皆さまのお陰で、充実した紙面を作らせて頂いております。さて、これまでの三紙の表紙のイラスト、そろそろお気づきになりましたか? 翌1月頃発行の今年度二紙目で全貌が現れます。

四紙コンプリートして表紙絵を合わせてみてくださー!